

校長のつぶやき II

校長室便り 第55号

令和3年1月27日 山内

○黙って食べる ー小学生も給食時はおしゃべり無しー

年がかわってはやくもひと月、今週末からは3年生の定期考査が始まります。新型コロナは我がみやぎにも多大な影響を与え、県立高校でもクラスターが発生しています。幸いにも岩高ではまだ感染による休校等の処置は行われていませんが、69校ある県立高校のうち、10校以上の学校で感染による休校処置が講じられてきましたので、いつこの学校でおこっても不思議はありません。ただ、もう一度基本的なことを確認しましょう。

授業や昼食時をたまに巡回していますが、本当に岩高生はルールを守ってくれていると思います。ありがとうございます。ただ、昼食時におしゃべりしながらという場面も見受けられました。県内に限らずですが、小中学校よりも高校の方が感染する事例が多く報告されています。もちろん、年齢のこと等様々な要因が関係していることとは思いますが、専門家から指摘されているのは、「小中学生が給食を黙って食べている」に対して「高校生の食事のおしゃべり」というのがあります。さらに「屋内の部活動による接触」ということもあげられています。両者に言えるのは、マスク等を着用せずに密室で行動しているということです。友達とおしゃべりしながらの食事は楽しいです。屋内の部活は他校と練習試合をして力を身につけたい時期です。それでもここが正念場です。来年の冬は終息していると信じて、もう少し我慢してください。皆さんよりも自立性に欠け、他への依存性の高い年頃の小学生も我慢しているのです。登下校時や電車内、駅の構内等でも、岩小をはじめとする小学生の手本となってください。マスク・消毒の徹底が世界的にも求められています。

新共通テストでは、マスクの着用を拒否した受験生が失格となりました。来客にマスクの種類を指定する店舗もあるそうです。表現に品がなく、乱暴な言い方かもしれませんが、医師会の幹部が「マスクは下着だと思って、他人はもちろん、家族であっても人前では必ず着用してください。裸のままでは恥ずかしいはずです」と言っていました。家庭内での感染も多く、自宅療養者がいる場合には家族全員が、マスク着用が必要だと言います。2月からワクチン接種が始まるといいます。あと少しです。

○共通テストに思う ー本当にこれでいいのでしょうかー

行政にいるとき、学習指導要領の大幅な改訂時で昼夜を問わず働きました。「県内どこの高校でも楽しく、生きた英語を使う授業を」と思い、北海道旭川から実践の第一人者を喚んだり、文科省の視学官も応援してくれました。「英語による授業」を踏まえた共通テストの問題と思いきや……。基本中の基本のコミュニケーション重視の授業は何処へ、「精読」しながら「速読する」技術を目指した演習に変わっていき、ついていけなければおいていかれ英語嫌いを多く作るでしょう。私はこのようなテストのために……

2024年度に再改革の予定ですが、英語はカッコいいスキルではなく、はらはらドキドキのスリル満点のカッコ悪いコミュニケーションです。どんなに演習しても速さも正確さもAIにはかないません。遅くとも、荒削りでも、AIにはできない本物のコミュニケーションを教えるのが英語の授業です。

ではこれで今回のつぶやきはお終いです。